



荒川静香選手 「金メダルおめでとう」記念式

3月27日(月) 勾当台公園市民広場 ほか

利府町しらかし台中学校出身の荒川静香選手がトリノオリンピックで金メダルを獲得したことを記念して、パレードと町民栄誉賞授与式などの記念式典が宮城県、仙台市、利府町、学校法人南光学園東北高等学校、宮城県スケート連盟の共催で開催されました。

荒川さんが仙台に戻るのはメダル獲得後初めてで、パレードは、午後零時半すぎ、仙台市青葉区東二番丁交差点をスタートし、宮城県警音楽隊の先導で、勾当台公園市民広場までの約1キロを30分ほどかけて進み、沿道に集まった観衆に手を振り、金メダルと晴れ姿を披露しました。

この日の仙台は抜けるような青空が広がっており、昼休み中のサラリーマンらも駆け付け、沿道は大勢の人で埋めつくされました。

その後、勾当台公園市民広場で記念式典が開催され、利府町町民栄誉賞をはじめとする各賞の授与が行われました。



東二番丁通り北行きで行われたパレードでは、沿道を埋め尽くした大勢の人々が荒川選手の活躍を祝福しました。



会場には73,000人が荒川さんを祝福するために集まりました。

町民栄誉賞が贈られました

町民栄誉賞は、広く町民に敬愛され、町民に明るい希望と活力を与えた方に対して授与されるものです。荒川静香さんは、長野オリンピックに高校生で出場した時、本町の「スポーツ功績賞」を受賞しています。荒川静香さんに贈られたものは次のとおりです。

- 町民栄誉賞(賞状、トロフィー)
- 記念品(利府梨の木のオーナー権10年分、利府産米1俵、利府町地酒)



オリンピックの感動が写真でよみがえる

冬季オリンピックトリノ大会の荒川静香さんの活躍を中心とした報道写真展が、3月29日(水)から、ペア・パル利府(利府町役場)で4月16日(日)まで行われました。

日本人選手団がメダル獲得に苦戦する中、本町しらかし台中学校出身の荒川静香選手が、日本選手団唯一のメダル、それも金メダルを獲得したことは、日本中が感動しました。

利府町では、この偉業をたたえ、町民をあげてお祝いし、オリンピックの感動を伝えるために、写真展を開催しました。

開幕に先立ち行われたオープニングセレモニーでは、母校のしらかし台中学校吹奏楽部により、「トゥーランドット」「誓い」が演奏され、しらかし台小学校の廣澤一志さん、しらかし台中学校の小西貴之さんらのテープカットで、写真展の開幕を祝いました。